取扱説明書



Network Telephony Adaptor

LANdeVOICE PT402



LdV4-PT402-2.0-2410

安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入 頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理 解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、当社および販売会 社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動 作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠して おりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当 社は本製品に関し、海外の保守サービスおよび、技術サポート等を行っておりませ ん。

使用している表示と絵記号の意味

▲ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、ま たは重傷を負う可能性が想定されます。
<u> 注意</u>	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可 能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定され る内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し ております。

永 発火注意	特定の条件において、発煙ま たは発火の可能性があること を示します。		特定の条件において、感電 の可能性があることを示しま す。	
に た た た た た た た た 、 た ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	特定の条件において、怪我を 負う可能性があることを示し ます。			

お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

○ 茶止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
1 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。



火災・感電・けがを防ぐために

<u> </u>	意 杀火注意
公 禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束 ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
公 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 また、AC100V~240V以外での使用はしないでください。 異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
公 禁止	本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や 感電の原因となります。 また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすること があります。
○ 禁止	本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入ってい るときは感電の恐れがあります。 また、電源が入っていなくても、故障の原因となります。
り 強制指示	ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。 差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の 原因となります。 抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張 るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
り 強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。 また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しない でください。火災、感電、故障の原因となります。
● 強制指示	VCCI適合機器については、付属のACアダプタをAC100Vで使用してくだ さい。それ以上の電圧で使用する場合についてはお問い合わせくださ い。
● 強制指示	次の場合は使用を中止してください。 液体や異物などが内部に入ってしまったとき ・ 煙、異臭、異音が出たとき
し 強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

人落雷注意



雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れ ず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電 の原因となります。

感雷注意 1発火注意 本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、 使用しないでください。 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ 急激な温度変化のあるところ(結露するようなところ) 油煙、ほこりの多いところ 火気の周辺又は熱気のこもるところ 保温性、保湿性の高いところ 漏電のあるところ 強い磁界が発生するところ 静電気が発生するところ • 直射日光があたるところ • ・暖房器具の近くなどの高温になるところ 振動の激しいところ 腐食ガスが発生するところ 他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。 故障の原因となります。 禁止 強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、 禁止 故障の原因となります。 本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的に取ってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾 強制指示 いた布で拭いてください。





本製品(付属品含む)は小さなお子様の手が届きにくい場所に設置、保管してください。

設置について

以下の場合には、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」をご使用頂けます。

- ・ 本製品を壁掛け設置する場合
- ・ 本製品を単独で平置きする際に固定したい場合

	以下の場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用してくだ さい。
· 強制指示	 ・本製品を平置き段積みする場合 ※本キットを使用せずに本製品を段積みして使用すると、製品内部 からの放熱ができなくなり、発熱による故障の原因となります。

その他

○ 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでく ださい。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はき れいな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭か ないでください。
り 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノ ブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くよ うにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損また はデータの消失、破損させる恐れがあります。
り 強制指示	本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める 手順(取扱説明書など)に従ってください。

はじめに

このたびは、LANdeVOICE PT402(本製品)をお買い上げ頂き、誠に ありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワ ーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。

本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず 本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発 揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に 保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、 弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

https://www.a-2.co.jp/landevoice/

本書の表記について

■注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
∰ × ב	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考 となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審 な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される 戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 10 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツーの登録商標です。

目次

安全	上のご注意	2
はじる	めに	6
目次		7
第1	章 お使いになる前にお読みください	8
	付属品の確認	.9
	各部の名称と働き	.9
	LED 表示	11
第2	章 設置と接続	15
	設置する	16
	電源を入れる	16
	LAN ケーブルを接続する	16
	アナログ回線を接続する	17
	接点入力のある機器を接続する場合	17
第3	章 設定方法	8
	設定画面ログイン方法	19
	設定画面について	23
	設定画面のメニューについて	24
	初期化の方法	26
第4	章 設定ファイル一覧 2	27
	基本設定ファイル (netcnfg.ini)	28
	システム設定ファイル(syscnfg.ini)	29
	電話番号設定ファイル (phone.ini)	39
	アクション設定ファイル(action.ini)	41
第5	章 使用例	14
	公衆網経由での発信	45
	IP アドレス指定による発信	48
	通話中に DTMF 信号で接点出力制御	49
第6	章 製品仕様	50
付	录、、、、、、、、	52
	付録 1 コーデック(音声圧縮方式)とは	53
	付録2 コーデック別使用帯域	54
	付録3 ファイル送信による設定について	55
	付録4 DHCP 設定の場合について	58
	付録5 修理について	58
	付録 6 パラメータ AD_MODE に関する説明	59
	付録7 パラメータ CALLCONN に関する説明	60
	付録8 パソコンのネットワーク設定について	61

第1章 お使いになる前にお読みください

この章では、PT402の各部の名称と働きなどについて説明します。

- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
 - 1前面
 - 2 背面
- LED表示
 - 1端末状態のLED表示
 - 2 STATUS LED表示
 - 3 ch.1/ch.2 LED表示

付属品の確認

PT402 をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。
□ LANdeVOICE PT402 本体
□ ACアダプタ (専用アダプタ 9V 1A)
□ LANケーブル (ストレート 3m)
□ 保証書
□ シリアルシール

各部の名称と働き

1 前面



ch.1 LED ch.1の通信状態を表示 2 背面



- F.G. 接地(アース)端子 ※接続推奨
- ② DC-IN 付属の AC アダプタを接続
- ③ C.OUT1/C.OUT2 接点出力端子
- ④ ch.1/ch.2
 公衆回線ポート
 RJ-11(NTT の公衆網、PBX の単独電話回線と接続)
- ⑤ COM シリアルポート ※ユーザは使用しません
- ⑥ SW 初期化用プッシュスイッチ(P.26 参照)
- ⑦ LANRJ-45 ネットワークケーブル (10BASE-T/100BASE-TX)を接続

LED 表示

1 端末状態の LED 表示

「STATUS」「ch.1」「ch.2」が同時に動作する時は、以下の端末状態を表します。

LED表示			PT402 の状態	
STATUS	ch.1	ch.2	191402 07 八思	
消灯	消灯	消灯	電源OFF	
電源を入れてから約 10 秒後に全LEDが 白点灯し、全LEDが一旦消灯			電源投入時	
緑点灯	消灯	消灯	待機状態 (ch.1、ch.2 アナログ回線未接続時)	
緑点灯	緑点灯	緑点灯	待機状態 (ch.1、ch.2 アナログ回線接続時)	
赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	再起動中	
白速点滅	白速点滅	白速点滅	設定画面左上「点滅」ボタン押下時 (3 秒間点滅) ※複数台の端末を同時に設定する 場合に設定中の端末を確認可能	
緑遅点滅	消灯	消灯	呼制御サーバへのステータス通知 が正常に行われていない時 (ch.1、ch.2アナログ回線未接続時)	
緑遅点滅	緑点灯	緑点灯	呼制御サーバへのステータス通知 が正常に行われていない時 (ch.1、ch.2 アナログ回線接続時)	
赤速点滅	消灯	消灯	DHCP設定でのIPアドレス未取得 時	
赤遅点滅	赤遅点滅	赤遅点滅	異常時 1 (ハードウェアに関する異常を検出)	
橙点灯	橙点灯	橙点灯	異常時2 (ソフトウェアに関する異常を検出)	

● メモ 異常時1および2の対処

端末状態のLEDが異常時1および2の状態を表しているときには、お客様では復旧できません。修理が必要となりますので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。 https://www.a-2.co.jp/landevoice/

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。 弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいま すよう、お願いいたします。

2 STATUS LED 表示

LED表示	PT402 の状態
緑点灯	待機状態 呼制御サーバに接続中 ※呼制御サーバ設定時(syscnfg.iniのパラメータ「SERVER」 設定時)
赤速点滅	DHCPクライアント設定時に、IPアドレスが取得できていない
赤遅点滅	LANケーブルが接続されていない
緑遅点滅	呼制御サーバと接続されていない(呼制御サーバ設定時) ※呼制御サーバと通信切断後、35 分経過すると自動再起動 します。
橙点灯	セカンダリ呼制御サーバのみが接続中 ※セカンダリ呼制御サーバ設定時(syscnfg.iniのパラメータ 「SERVER2」設定時)
橙速点滅	・必要なファイルが存在しない ・設定ファイルの内容が間違っている

3 ch.1 / ch.2 LED 表示

ch.1 / ch.2	PT402の状態 (使用している回線のみ動作します)
消灯	待機状態 (ch.1 / ch.2 にアナログ回線未接続時)
緑点灯	待機状態 (ch.1 / ch.2 にアナログ回線接続時)
赤遅点滅	 ・終話もしくは、通話切断 ・発信先不明、通話中 ・発信先未登録
橙遅点滅	・接続されたch.1 / ch.2 アナログ回線オフフック時
橙リング点滅※	・IP回線発信時 ・IP回線着信時
橙点灯	通話中

※リング点滅とは・・・呼出信号のパターンで点滅(1秒:速い点滅 / 2秒:消灯)

第2章 設置と接続

この章では、PT402の設置と接続の手順について説明します。 設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。 手順としては、第3章の設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する
- アナログ回線を接続する
- 接点入力のある機器を接続する場合

設置する

通常設置の場合は、PT402のゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

壁掛け設置をする場合や平置きで台に固定する場合は、正規オプション品の 「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用することを推奨します。

平置き段積みする場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用して設置してください。

電源を入れる

 PT402 には電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-IN」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。
 ※アースの接続を推奨します。



2 PT402 の電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

LAN ケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN」と書かれたポートに接続します。 ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- LANケーブルの反対側をHUBまたはルータなどのネットワーク機器に 接続してください。

Ⅲ メモ LAN ポートのリンクランプを確認してください

PT402 とネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後に LANポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが 点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑ランプ(左)	黄ランプ(右)
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	消灯

アナログ回線を接続する

- 1 PT402 の「ch.1」「ch.2」と書かれたポートへ電話線(RJ-11 コネクタ、6 極 2 芯 のモジュラーケーブル)を接続します。 ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。 「ch.1」: 1 回線目になります 「ch.2」: 2 回線目になります
- **2** ch.1/ch.2 が緑点灯していることを確認してください。

接点入力のある機器を接続する場合

PT402 の「C.OUT1」もしくは「C.OUT2」と書かれたポートへ、接点入力のある機器 を接続してください。 回転ライト等を接続できます。

第3章 設定方法

この章では、PT402を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- 初期化の方法

メモ 設定方法について
 PT402 は、お客様のパソコンのWebブラウザより必要な設定をして頂きます。
 設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

設定画面ログイン方法

PT402を設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

1 本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。

PT402 のLANポートには Auto MDI/MDI-X機能 がないため、 Auto MDI/MDI-X機能 がないパソコンと接続する場合はHUB経由で接続してく ださい。 直接接続したい場合はクロスケーブルで接続してください。

ACアダプタとLANケーブルの接続後、本体のLEDが待機状態になっているか

確認をしてください。 LEDについて(P.11)

【出荷時設定】

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24
ネットマスク	24(255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084
ユーザ名	admin ※変更不可
パスワード(P.25 参照)	admin

注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとPT402は、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をPT402に合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。※P.61参照
- ・パスワードはセキュリティーの観点から変更することを推奨いたします。 パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。
 PT402 が通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

2 パソコンのWebブラウザを起動します。

【Webブラウザとは】

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。 弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- Microsoft Edge
- Firefox
- Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「<u>http://192.168.1.24:8084/</u>」と入力し、[Enter]キーを押します。

form 新しいタブ $ $	× + ⊕ http://192.168.1.24:8084	4/
http://	192.168.1.24	: <u>8084</u> /
	Ļ	Ļ
	PT402 の IP アドレス	設定画面に接続するための HTTP サーバのポート番号
※アドレス。 設定を変	とポート番号は、出荷時設 を更した場合には、設定後	定(初期設定値)です。 のIPアドレスとポート番号に置き換えて

ください。

4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、 「サインイン」をクリックします。 ※ブラウザによって表記が異なります

ユーザー名	admin		
パスワード			
		サインイン	キャンセル



注意 パスワードについて ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。 設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティー 上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。 また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

◎ メモ ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- PT402 のLEDが待機状態であるか
- LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか
 (ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプが アクティブな状態になっているか
- ・設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・IPアドレスおよびポート番号の値が適切か
- ・IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて 通信が確認できるか

5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。

LA N20004	06 PT402 SN20004 402 設定画面	0E		取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認くださ、 製造元:株式会社エイツー Webサイト:https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/
端末性	青報		▶ 基本設定ファイル (ne	etcnfg.ini)
端末名	SN2000406	点滅	変更したい箇所を直接書き	接えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。
製品名	当 PT402		人力は主(千円文子を使)	用してくためで、
SN	2000406		IPアドレフタットファク	192.168.1.24 / 24 (255.255.255.0) 🗸
MAC	00:10:43:14:01:9	6	ПЛОХИЛКХУ	DHCPはIPアドレスを255.255.255.255と入力してください。
リリー	ス 1.7.0		デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
	呼制御术一卜番号	4445		SN300406
ch.1	加斯化中	更新	端末名	半角英数字、ビリオド、ハイブンを使用できます。
1.2	呼制御术一卜番号	4446		最大20文字。
cn.2 \$7	期化中	更新	HTTPボート番号	8084 (0 - 65535)
音声	ポート番号 4447-4	4450		0または空日を設定すると設定画面が開かなくなります。
			キャンセル	
ログ確	11月 11日 11日	»		
バック	アップファイル作成	nannan »	 端末の時刻設定 	
ファイ) バック	し送信/ アップファイル復元	»	実際の時刻とずれている場	易合はッパソコンの時刻に合わせる。ボタンを押してくださし
PING	读行	www.www.www.www. >>	端末の現在の時刻	2001/01/13 02:08:05 パソコンの時刻に合わせる

設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。 設定は、直接書き換えることができます。 「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。



設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ず クリックし、設定を反映させてください。

設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。



- ① ・・・現在の端末内部ログを取得(表示)します。
 - ・動作ログ(mlog):基本動作を記録したログです。
 - ・通信ログ(cchlog):呼制御動作を記録したログです。
 - ・解析ログ(elog):詳細動作を記録したログです(メーカー調査用)。
- ② ・・・設定ファイルやログをパソコンに保存します。 設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存 を推奨します。 保存されたファイルは「.tgz形式(tar.gz形式)」で圧縮されています。 (解凍ソフト例:Lhaplus)
- ③ ・・・パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。 ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送 することができます。 万一故障してしまい修理に出す場合なども、予めバックアップファイルを 保存しておくことで、修理返却後に修理前の設定に戻すことができます。
- ④ ・・・IPアドレスを入力してpingを実行します。
 IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ ・・・設定画面ログイン時のパスワードを変更します(設定可能値は P.25 参照)。
- ⑥ ・・・PT402の工場出荷時設定が記載されています。 ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックすると、基本設定ファイル (netcnfg.ini)以外の設定が全て工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ ・・・端末を再起動します。(通話中の場合は通話が切断されます)

■設定画面ログイン時のパスワードについて 半角英数字、6種類の半角記号、合計 5~8 文字で設定可能です。 ※英字の大文字、小文字は区別されます

<設定可能値一覧>

1234567890 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ! (感嘆符) # (番号記号) % (パーセント) & (アンパサンド) @ (単価記号) _ (アンダーバー)

初期化の方法

本体背面のSW(プッシュスイッチ)を約 10 秒以上長押しすると全LEDが赤速点滅し、 自動的に再起動します。再起動後、以下の項目が出荷時設定となります。 端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインする ことができます。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の全項目
- admin ユーザのパスワード:admin

再起動後は、ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができるようになります。

http://192.168.1.24:8084/

※端末名の工場出荷時設定は端末のシリアルナンバー(SN)です。

※基本設定ファイル(netcnfg.ini)以外の設定を初期化する場合は、設定画面メニュ ー「工場出荷時設定」ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックしてください。

第4章 設定ファイル一覧

この章では、PT402を設定するための設定ファイルについて説明します。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)
- システム設定ファイル(syscnfg.ini)
- 電話番号設定ファイル(phone.ini)
- アクション設定ファイル(action.ini)

基本設定ファイル(netcnfg.ini)

ネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。 ※全て半角文字で記述してください。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	PT402のIPアドレスとネットマスクを設定しま す。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP:数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を 入力してください。 DHCPモードで使用する場合には、 "255.255.255.255"と入力します。 (P.58参照) ネットマスク:該当するビット数 を選択してください。	IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	IPアドレス: 192.168.1.24 ネットマスク:24 ビット (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	接続されるネットワークのデフォルトゲートウ ェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力 してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、 設定不要です。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
端末名	 端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 abc-123) 無記述時はシリアルナンバーが表示されます。 例) SN2012345 	最大 20 文字 半角英数字 " - "(ハイフン) " . "(ピリオド)	シリアルナンバー (SN)が表示されます
HTTPポート 番号	設定画面に接続するためのHTTPサーバポー ト番号を設定します。 セキュリティー上、設定画面へのアクセスを 拒否したい場合は「0」を設定するか、空欄に してください。	0~65535	8084

システム設定ファイル (syscnfg.ini)

システムに関する設定ファイルです。 パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合がありま す。
- パラメータ名と設定値は必ず1行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
 「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
 また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
AD_MODE	 IP回線への自動発信設定(AUTODIAL)の場合、アナログ回線からの着信時に、アナログ回線をオフフックするかどうかを設定します。 0:オフフックをしないで発信処理を行う IP回線側の発信先相手が見つからない場合、オンフック(切断)することができない。 1:オフフックをして発信処理を行う IP回線側の発信先相手が見つからない場合でも、オンフック(切断)することができる。 パラメータCALLCONNが無効となる。 ※公衆回線接続時には、意図しない課金が発生する場合があります。 ※付録に詳しい説明図を記載しています。 (関連パラメータ: AUTODIAL、CALLCONN) (記述例 AD_MODE 0) 	0 1	0
ALIVETIMER	呼制御サーバにステータスを通知する間隔を設定しま す。 -1: 非通知 0: DHCPIこよるPT402のIPアドレス更新時のみ通知 (関連パラメータ: SERVER) (記述例 ALIVETIMER 3)	-1~120 単位:分	3
AUTODIAL1	PT402 がch.1 から着信したら電話番号を入力しなくて も自動的に発信する機能です。 設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定しま す。 電話番号は、電話番号設定ファイルを参照します。 (記述例 AUTODIAL1 100) 着信すると電話番号「100」へ自動発信します。	23 桁までの電話 番号 0~9 "#" "* "	未設定
AUTODIAL2	PT402 がch.2 から着信したら電話番号を入力しなくて も自動的に発信する機能です。 設定値は、発信したい相手先の電話番号を指定しま す。 電話番号は、電話番号設定ファイルを参照します。 (記述例 AUTODIAL2 200) 着信すると電話番号「200」へ自動発信します。	23 桁までの電話 番号 0~9 "#" "* "	未設定

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
	音声パケットの送出間隔を設定します。		
	LANdeVOICE4 シリーズ同士で通信する場合 設定値 「30」		
BLOCK	LANdeVOICE2 および 3 シリーズと通信する場合 CODER G.711 の場合、設定値「30」、「60」 CODER G.729A、G.723.1 の場合、設定値「30」、 「60」、「90」	30・60・90 単位:ミリ秒	30
	(関連パラメータ: CODER) (記述例 BLOCK 30)		
CALLCONN	発信先のLANdeVOICE端末が交換機(PBX)のODトラ ンクに接続されている場合において、PT402 がIP回線 へ自動発信する際にアナログ回線をオフフックするタイ ミングを設定します。		
	ON:発信先LANdeVOICE端末に接続された交換機の 呼び出しを開始した時点で、PT402のアナログ 回線をオフフックし、通話状態にする OFF:発信先LANdeVOICE端末に接続された交換機 の先の電話機等がオフフック(通話状態)した 時点で、PT402のアナログ回線をオフフックし、 通話状態にする	ON OFF	OFF
	※付録に詳しい説明図を記載しています。 ※パラメータAD_MODEの設定値が1の場合には、 本パラメータは無効となります。		
	(関連パラメータ: AD_MODE) (記述例 CALLCONN OFF)		

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
	PT402 が呼制御および音声通信で使用するUDPポ ート番号を設定します。 (関連ファイル:phone.ini)		
	UDPポート番号は、CCHの設定値から合計6つの 連続した値を使用します。		
	<呼制御で使用するポート番号> CCHを "4445" に設定した場合 1 回線目(ch.1) 4445 2 回線目(ch.2) 4446(設定値+1)	1~65530	4445
	<通話で使用するポート番号> 4447~4450 2回線目のポート番号の次から4ポート使用		
	(記述例 CCH 4445)		
	現在設定されているポート番号は、設定画面にて確 認できます。		
	<補足> ルータのIPマスカレードを使用して同一ネットワーク 内で複数のLANdeVOICE製品を設置する場合、 CCHパラメータ値の変更が必要となります。使用す るポート番号の範囲が、他のLANdeVOICEと重複し ないよう設定してください。 設定例 LANdeVOICE 1 号機『CCH 4445』 LANdeVOICE 2 号機『CCH 4451』 LANdeVOICE 3 号機『CCH 4457』		

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CODER	 音声圧縮方式(コーデック)を設定します。 <注意> PT402の回線ごと(ch.1 とch.2)で異なる値の設定 はできません。 PT402と通信するLANdeVOICEの設定は、異なる 設定をする必要がない場合は、基本的に同じ値にし てください。 接続先LANdeVOICEと設定が異なる場合、圧縮率 の高いコーデックに自動的に合わせます。 例)発信側:値17、着信側:値16の場合、発信側も 16になります。 ※KA02、LA01と通信する場合には、値1(G.711) のみを設定してください。 【設定値】 1 (G.711 64kbps圧縮) 16 (G.723.1 6.3kbps圧縮) 17 (G.729A 8kbps圧縮) ※G.711に設定すると、データは大きくなりますが、 音質が良くなります。 (記述例 CODER 1) 	1 16 17	1
CTRING	 PT402 アナログ回線からの着信時の呼出信号の判定 方法を設定します。 PT402 はナンバーディスプレイや呼出信号を検出した 際、呼出信号のパターンによって着信動作を行います。 NTTパターン: IR信号 1 秒鳴動、2 秒休みの繰り返し それ以外: SIR信号 0.25 秒鳴動、0.25 秒休みの 繰り返し(交換機単独電話回線など) 2~5: NTTパターン:オフフックまでの呼出信号の カウント数を指定 ※ナンバーディスプレイ使用不使用によらない 1: NTTパターン以外の呼出信号かつ ナンバーディスプレイ使用 0: NTTパターン以外の呼出信号かつ ナンバーディスプレイ使用 ※設定値 1 で動作しない場合 (記述例 CTRING 0) 	2~5 1 0 -1	0

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
DELIM	発信時に、"#"を入力の終了(デリミタ)として扱うかどう かを設定します。 電話番号が"#"から始まる場合は、途中で"#"が押され てもデリミタとしません。 ON: #をデリミタ文字として扱う OFF: #をデリミタ文字として扱わない (記述例 DELIMON)	ON OFF	ON
DETBTCT	 TA等の仕様によって終話時に極性反転しない場合、 PT402 が終話と判定するためのビジートーン検出回数を設定します。 接続されている機器から極性反転が出力されない場合、ビジートーン検出回数が設定値を超えると、終話と判定します。 ※設定値が 0 の場合はビジートーン検出を行いません。そのため、場合によっては終話判定ができなくなり、通話状態をいつまでも保持する持ちきり状態になってしまう可能性があります。その場合はPT402を再起動してください。 ※一斉放送を行っている場合、放送にビジートーンが流れる可能性がありますので、予めご了承ください。 ※ビジートーンが設定した値より多く聞こえる場合があります。 (記述例 DETBTCT 5) 	0~30 単位:回	5
DIALSELECT	PT402に接続されたTA等のアナログ回線への送出選 択信号種別を指定します。 ※交換機・TA等の設定によります。 0: PB(DTMF)信号 1: DP信号 10pps 2: DP信号 20pps (記述例 DIALSELECT 0)	0 1 2	0

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
DTMF_TOUT	 通話中にDTMF信号を受信した際の桁間タイマーおよびDTMF受信の開始番号と終了番号を設定します。 【記述方法】 DTMF_TOUT <桁間タイマー> <開始番号> <終了番号> <桁間タイマー> -1: DTMF制御無効 0: 桁間タイマーなし DTMF送信側は<開始番号>の後、DTMF番号の入力を開始し、<終了番号>で終了してください。 <開始番号>を入力すると入力待ち音「プ、プ、プ」が 聞こえるので、action.iniのDTMF受信設定(P.42)の オプションで指定されたDTMF番号を入力し、最後に <終了番号>を入力します。 入力を間違えた場合、再度<開始番号>を入力する と、最初から入力し直すことができます。 1~10: 指定秒数で桁間タイムアウト DTMFを送信する側では<開始番号>を入力する と、最初から入力し直してください。 石がきまする側では<開始番号>および<終了番号>を使用せずにDTMF番号を入力できます。 「プ、ブ、プ」は聞こえません。 番号入力中に設定秒数以上の間隔が空いた場合 は最初から入力し直してください。 入力を間違えた場合は設定秒数経過後に最初 から入力し直してください。 【注意事項】 ・通話中にDTMF開始番号を検知するとDTMF受信 モードになり、その間は音声通話ができなくなります。 "#"や"*"を別の用途で使用している場合は DTMF開始番号に設定しないようご注意ください。 ・終了番号がaction.iniのDTMF番号に含まれないよう ご注意ください。 (記述例 DTMF_TOUT 0 # #) 	桁間タイマー -1~10 単位:秒 開始番号、 終了番号 0~9 "#" "*" 1 桁のみ	-1
DTTO	ダイヤルトーンが検出できない場合に番号の自動送出 を開始するまでの時間を設定します。 ※ダイヤルトーンが検出できない場合でも、ある程度 時間が経ったら番号を自動送出するようになって います。 ※公衆回線に接続する場合は3以上の値を設定して ください(省令により定められています)。 (記述例 DTTO3)	0~10 単位:秒	3

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
ECE	エコーキャンセラの有無を設定します。 ON: エコーキャンセラを有効にする OFF: エコーキャンセラを無効にする 通常はONでご使用ください。 (記述例 ECE ON)	ON OFF	ON
EMSGID	アクション設定ファイルで使用される「TID(Terminal ID)」の値を設定します。 TIDとは、端末固有のIDのことです。 (記述例 EMSGID PT402)	半角英数字 15 文 字まで	PT402
EN_REDIAL	公衆回線への再発信制限の有無を設定します。 公衆回線に接続する場合は1を設定してください。 (省令により定められています) 有効にすると、1回目の発信から3分以内に3回以上 再発信された時は、3回目以降は発信しません。 0: 再発信制限を無効にする 1: 再発信制限を有効にする (記述例 EN_REDIAL 0)	0 1	0
PORTGROUP	 グループ着信の設定をします。 1つの電話番号でch.1もしくはch.2を呼び出すことができます。 ON:グループ着信を有効にする OFF:グループ着信を無効にする(個別の番号で着信) 【発信側のphone.iniの設定】 ポート番号はch.1宛のみを設定します。 例)100 192.168.1.24:4445 上記を設定し、電話番号 100 で発信すると 192.168.1.24 の空いているch.1もしくはch.2 に着信します。 ※ch.1 およびch.2 へ同時に着信させたい場合、呼制御サーバが必要になります。 (記述例 PORTGROUP OFF) 	ON OFF	OFF

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
RCTTONE	PT402 アナログ回線からの着信時に、選択信号を受け 付けていることを示す音を設定します。 0: 無音 1: ダイヤルトーン 2: セカンドダイヤルトーン(400Hzのツッツッツ音)	0 1 2	2
SCE	 (福祉に), 「NOTIONEL」 無音圧縮の有無を設定します。 会話と会話の間の無音時に、パケット送出を停止する 設定です。通常はOFFに設定してください。 ※やむを得ず使用帯域を削減したい場合、ONに設定してください。 LANdeVOICE2 シリーズと通信する場合、OFFに設定してください。 ON:無音圧縮有効 OFF:無音圧縮無効 (記述例 SCE OFF) 	ON OFF	OFF
SERVER	プライマリ呼制御サーバのIPアドレスを設定します。 呼制御サーバで電話番号を一括管理する場合に設定します。 発信元端末のphone.inilこ発信先の電話番号が設定されていない場合、本パラメータに設定されたIPアドレス (呼制御サーバ)へ問い合わせをします。 呼制御サーバが1台の場合は、必ず本パラメータの方 を設定してください。 (記述例 SERVER 192.168.1.20)	IPアドレス(IPv4)	未設定
SERVER2	セカンダリ呼制御サーバのIPアドレスを設定します。 呼制御サーバが2台ある場合に設定してください。 発信時は、プライマリ呼制御サーバ(SERVER)、セカン ダリ呼制御サーバ(SERVER2)の順番で接続し、応答 のあった呼制御サーバと通信します。 (記述例 SERVER2 192.168.1.21)	IPアドレス(IPv4)	未設定
TMDETRVS	公衆回線への発信時に転極が検出できない場合に切 断するまでのタイムアウト時間を設定します。 公衆回線に接続する場合は 120 に設定してください。 (省令により定められています) 0: タイムアウトしない (記述例 TMDETRVS 120)	0~120 単位:秒	0

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
VOL_IN1	 ch.1のアナログ回線からの入力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32以下を設定した場合、-32になります。 31以上を設定した場合、31になります。 (記述例 VOL_IN10) 	-32~31 単位:dB	0
VOL_IN2	 ch.2 のアナログ回線からの入力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32 以下を設定した場合、-32 になります。 31 以上を設定した場合、31 になります。 (記述例 VOL_IN2 0) 	-32~31 単位:dB	0
VOL_OUT1	 ch.1のアナログ回線への出力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32以下を設定した場合、-32になります。 31以上を設定した場合、31になります。 (記述例 VOL_OUT10) 	-32~31 単位∶dB	0
VOL_OUT2	 ch.2のアナログ回線への出力レベルを設定します。 -32(ミュート) ~ 31(最大) 相対値となります。 -32以下を設定した場合、-32になります。 31以上を設定した場合、31になります。 (記述例 VOL_OUT20) 	-32~31 単位:dB	0

電話番号設定ファイル(phone.ini)

PT402 に登録する発信先電話番号帳です。 記述方法と編集ルールは以下の通りです。



※呼制御サーバ経由で通信する場合
 電話番号 SERVER !コメント文
 上」
 半角スペース
 半角スペース
 1文字分以上

<編集ルール>

- 発信先の電話番号、IP アドレスとポート番号を記述します。
- 任意の数字および「#」「*」(最大 23 桁)により、電話番号を設定できます。
 ただし syscnfg.iniのパラメータ DELIM が ON に設定されている場合は、「#」が入 カ終了文字として扱われ意図した相手に発信できないため注意してください。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は必ず 1 行で記述してください。
- 電話番号と IP アドレス、ポート番号は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 電話番号が重複して登録されていた場合、上位に記述されている番号が優先され ます。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。

 「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
 また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

 呼制御サーバ経由で通信する場合は、IPアドレス・ポート番号部分を「SERVER」と記述します。

 ※syscnfg.iniのパラメータ SERVER または SERVER2 に呼制御サーバの

IP アドレスを登録しておく必要があります。

<記述例>

100 192.168.1.10:4445	!100 番で PB402 の ch.1 へ発信
200 SERVER	!200 番で呼制御サーバへ発信

■便利な電話番号登録と記述方法

PT402 発信先拠点に PBX がある場合など、電話番号設定ファイルに以下のような設定を すると便利です。

① 省略 []	
[]で囲まれた番号はダイヤルされた電話番号との一致を比較する際には利用されますが、 着信側LANdeVOICEからダイヤルを送出する時(PBXやNTTダイヤルインなど)には省略さ れます。	,
発信者が「031234」とダイヤルすると"[]"で囲まれた部分が省	

例:[0312]34 略されて「34」を着信側のLANdeVOICEから接続されている機器 へ送出します。

② 追 加	
<>で囲まれた部分は D 加番号の内容は無視され	ID通知時に追加されます。電話番号の一致を検索する際には、追 ぃます。
例:<0>312345678	発信者が「312345678」とダイヤルすると"< >"で囲まれた部分が 追加されて、0312345678を着信側のLANdeVOICEより送出しま す。

③ 任意の1桁	?
?は任意の番号として	こ一致を比較します。
例:03123456??	03123456XXとダイヤルされた電話番号は全て該当すると判断し ます。
例:???	3 桁の任意の番号が一致します。 「???」より上部に「??」の記述があると、先に??の 2 桁に該当して 2 桁で発信します。この場合は、3??などにすると、3 から始まる 3 桁になります。

④ 任意の桁 /	
/は以降の入力を全て	有効にします。
例:03/	桁数の一致、「03」までの入力で該当と判断し、以降4秒のタイム アウトまで入力を受け入れます。 #(デリミタ)を使うことによりタイ ムアウトを待たなくても発信させることが可能です。(デリミタはパ ラメータでON/OFF可能です。)

⑤ ポーズ追加 P		
簡易DID発信等を利用して、接続先のLANdeVOICEからPBXへ発信する場合にダイヤルポ ーズを追加することが可能です。Pびとつで約1秒のダイヤルポーズを行います		
例: <0PP>0312345678 (②との併用例)	0312345678 とダイヤルすると、先頭に「OPP」を追加して接続先の LANdeVOICEへ通知します。 DID通知では 0 をダイヤルした後に 2秒間ポーズし、残りの番号をダイヤルします	

6	特定番号発信規制	NOP	
			ſ

特定の電話番号を発信不可能にします。このとき特定の電話番号は省略記号[]で囲む必 要があります。

例: [100] NOP 100 とダイヤルをしても発信されず、タイムアウト後BTとなります。

⑦ 上記①~⑤の機能は複合させることも可能です。		
[031234]/	031234 で確定し、残りの入力をDID通知します。	
031234[5]<6>7??	03123457XXの下4桁を「67XX」に変更してDID通知します。	

アクション設定ファイル(action.ini)

端末の状態により接点を動作(ON/OFF)させる事ができます。

記述例



接点出力部指定

COUT1、COUT2の順に記述してください。順番を変えて設定すると、正常に動作しない場合があります。

記述名	説明	出荷時設定
[COUT1]	C.OUT1 接点出力動作を指定します。 接点出力 1 に関する設定を[COUT1]の下に記述して下さい。 ※必ず記述してください。	[COUT1]
[COUT2]	C.OUT2 接点出力動作を指定します。 接点出力 2 に関する設定を[COUT2]の下に記述して下さい。 ※必ず記述してください。	[COUT2]

動作モード説明

動作モード	説明
ON	接点をON(ショート)します。
OFF	接点をOFF(解放)します。
SB	スローブリンク。ゆっくりしたON/OFF。 1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
FB	ファーストブリンク。速いON/OFF。 0.1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
OS [パルス幅]	ワンショット。接点をn mSec ON(ショート)します。 パルス幅の単位はミリ秒 100 ミリ秒から 60000 ミリ秒(1 分)まで設定可能 デフォルト値は 100ms

動作モード設定およびイベントメッセージ

※オプションを指定する場合、TID(syscnfg.iniに設定したEMSGID)を必ず記述してください。

動作モード	イベントメッセージ	接点出力動作
	"LDVEVN_PT1(2) STARTUP"	ch.1(ch.2)起動完了時
	"LDVEVN_PT1(2) DIALING"	ch.1(ch.2)のアナログ回線オフフック時
	"LDVEVN_PT1(2) SETUP [TID] [オプション]"	ch.1(ch.2)からのIP回線発信開始時
	(記述例) "LDVEVN_PT1 SETUP PT402 100"	オプションに発信先の電話番号を記述すると、その 電話番号へ発信開始時にCOUT1(2)を動作させる ことが可能。
	"LDVEVN_PT1(2) CONNECTED"	ch.1(ch.2)のIP回線通話開始時
	"LDVEVN_PT1(2) IDLE"	ch.1(ch.2)のアナログ回線オンフック時(待機状態)
		ch.1(ch.2)のIP回線話中(ビジー)時
ON OFF SB FB OS	"LDVEVN_PT1(2)BUSY [TID] [オプション]" (記述例) "LDVEVN_ PT1 BUSY PT402 NETWORK"	以下のオプションを指定可能 オプションなし・・・話中(ビジー)時 USER_BUSY・・・相手側が通話中 UNALLOC_NUM・・・該当する番号なし、または 受話器をオフフック後放置し、話中状態時 NETWORK・・・ネットワークエラー等
	"LDVEVN_PT1(2)RINGING [TID] [オプション]" (記述例) "LDVEVN_PT1 RINGING PT402 200"	ch.1(ch.2)のIP回線着信時
		オプションに発信元の電話番号(呼制御サーバ使用 時)もしくはシリアル番号を記述すると、その電話番 号(シリアル番号)からの着信時のみにCOUT1(2) を動作させることが可能。
		通話中のIP回線からのDTMF信号受信時
	"LDVEVN_PT1(2) DTMF [TID] [オプション]"	オプションに「DTMF番号(0~9)」を記入します。 ※本設定はDTMFを受信する端末に設定します。
	(記述例) "LDVEVN_PT1 DTMF PT402 123"	DTMF送信側の操作方法等についてはsyscnfg.ini のパラメータDTMF_TOUT(P.35)を参照してくださ い。
		※LANdeVOICE4 シリーズ間でのみ使用可能
	"LDVEVN_NT1 LINKDOWN"	ネットワークリンクダウン時
	"LDVEVN_NT1 LINKUP"	ネットワークリンクアップ時
ON OFF SB FB OS	"LDVEVN_NT1 OFFLINE"	呼制御サーバとの通信が確立できていない状態 ※ONLINEとセットで設定してください
	"LDVEVN_NT1 ONLINE [TID] [オプション]"	呼制御サーバとの通信確立時 ※OFFLINEとセットで設定してください
	(記述例) "LDVEVN_NT1 ONLINE PT402 SERVER"	オプションに「SERVER、SERVER2」を設定 SERVER・・・プライマリサーバに接続 SERVER2・・・セカンダリサーバに接続

第4章 設定ファイル一覧

設定例

	動作	記述例
1	ch.1 通話中にC.OUT1 をON、終 話時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PT1 CONNECTED" OFF "LDVEVN_PT1 IDLE"
2	ch.2 の着信時にC.OUT2 を速い ON/OFF、通話開始したらOFF。	[COUT2] FB "LDVEVN_PT2 RINGING" OFF "LDVEVN_PT2 CONNECTED"
3	ch.2 へ、シリアル番号 2000001 からの着信時にC.OUT2 をワンシ ョット(2 秒間ON)する。2 秒経過 後、OFF。	[COUT2] OS 2000 "LDVEVN_PT2 RINGING PT402 ##2000001"
4	ch.1 通話中にC.OUT1をON。終 話時にOFF。 相手からのDTMF信号(123)で、 C.OUT2をON。 DTMF信号(456)でC.OUT2を OFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PT1 CONNECTED" OFF "LDVEVN_PT1 IDLE" [COUT2] ON "LDVEVN_PT1 DTMF PT402 123" OFF "LDVEVN_PT1 DTMF PT402 456"
5	端末動作中にC.OUT1をON。	[COUT1] ON "LDVEVN_PT1 IDLE"
6	ch.1 の発信時はC.OUT1 をON、 着信時には C.OUT1 をゆっくり ON/OFF、通話終了時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_PT1 SETUP" SB "LDVEVN_PT1 RINGING" OFF "LDVEVN_PT1 IDLE"

第5章 使用例

実際に通話を試してみましょう。

- 公衆網経由での発信
- IPアドレス指定による発信
- 通話中にDTMF信号で接点出力制御

公衆網経由での発信

下図の接続例にしたがって説明します。



■公衆回線から拠点 A の PT402 経由で拠点 B へ発信する方法

- PT402 に予め以下の設定を行います。
 ・システム設定ファイル(syscnfg.ini) パラメータ名: AUTODIAL1、もしくはAUTODIAL2 記述例 AUTODIAL1 100 ※ch.1 で自動発信する場合はAUTODIAL1 を設定。ch.2 で自動発信する場合
 - ※ch.1 で目動発信する場合はAUTODIAL1 を設定。ch.2 で目動発信する場合 はAUTODIAL2 を設定。
 - ・電話番号設定ファイル(phone.ini)
 システム設定ファイル(syscnfg.ini)のAUTODIAL1もしくは2で設定した電話 番号およびPB402のIPアドレスとポート番号を設定します。
 記述例 100 192.168.1.11:4445
- 2 公衆回線に接続されている電話機の受話器を上げ、拠点Aの電話番号へダイヤルします。(例:03-1234-5678)
- **3** PT402 が着信し、phone.iniに設定された電話番号 100 のPB402 へ自動発信 します。
- 4 PB402 に接続された電話機が呼び出されます。

■拠点 B から拠点 A の PT402 経由で公衆網へ発信する方法

- PB402 に予め以下の設定を行います。 ・システム設定ファイル(syscnfg.ini) パラメータ名:AUTODIAL1(ch.1)、もしくはAUTODIAL2(ch.2) 記述例 AUTODIAL1 200
 - ・電話番号設定ファイル(phone.ini)
 システム設定ファイル(syscnfg.ini)のAUTODIAL1 もしくは 2 で設定した電話 番号およびPT402 のIPアドレスとポート番号を設定します。
 記述例 [200] 192.168.1.10:4445

※電話番号を[]で囲むと、200 という番号は省略されます。 (P.40「便利な電話番号登録と記述方法」参照)

- 拠点BのPB402 に接続された電話機の受話器を上げると、拠点AのPT402 に 自動発信します。
- 3 PT402 が着信すると、公衆回線へつながりダイヤルトーンが聞こえます。
- 4 そのまま発信したい公衆回線の電話番号をダイヤルします。

第5章 使用例

■PT402 へ発信する LANdeVOICE の phone.ini 設定について

P.45の接続例のような構成において、拠点BのLANdeVOICEから拠点Aの PT402を呼び出す際の内線番号については、「便利な電話番号登録と記述方法」 (P.40)を参考に、便利な設定をすることができます。

以下のphone.ini例を参考に説明します。

パターン①

[200] 192.168.1.10:4445 !コメント

[]: この記号で囲まれた番号は、省略されます。 この省略を使用しない場合は、その番号で公衆網へ発信してしまいます。

パターン②

[200]/	192.168.1.10:4445	!コメント
LJ		

[]: この記号で囲まれた番号は、省略されます。

/: この記号以降の全ての番号が有効です。

発信側LANdeVOICEから200+任意の番号をダイヤルすると、発信側 LANdeVOICEで200を省略してPT402へ発信し、任意の番号のみをPT402へ 伝えます。

PT402 は伝えられた番号で公衆網へ発信します。

パターン③

[200]<0312345678> 192.168.1.10:4445 !コメント

[]: この記号で囲まれた番号は、省略されます。

<>: この記号で囲まれた番号は、追加されます。

発信側LANdeVOICEから 200 とダイヤルすると、発信側LANdeVOICEで 200 を 省略します。その後、「0312345678」を自動的に追加してPT402 へ発信します。 PT402 は追加された「0312345678」で公衆網へ発信します。

結果、200 をダイヤルすれば公衆回線の「0312345678」へ発信することが可能になります。

パターン④

03??????? 192.168.1.10:4445 !コメント

「03」から始まる 10 桁の任意の番号は全て、PT402 経由で公衆網へ発信されます。

たくさんある電話番号を全てphone.iniに書き込まなくても、桁数で管理することができます。

パターン⑤

!コメント

PT402 の電話番号を0 から始まる任意の桁数としています。 PT402 を呼び出すために「0312345678」をダイヤルすると、PT402 が着信しその まま「0312345678」を公衆網へ発信します。

1xx等の0以外から始まる電話番号では、PT402経由で公衆網へ発信することはできません。

パターン⑥

0312345678 192	168.1.10:4445	!コメント
----------------	---------------	-------

発信先が固定されます。03-1234-5678 以外には発信できません。

PT402 の電話番号を「0312345678」としています。 PT402 を呼び出すために「0312345678」をダイヤルすると、PT402 が着信しその まま「0312345678」を公衆網へ発信します。

IP アドレス指定による発信

発信先LANdeVOICEのIPアドレスとポート番号をダイヤルします。

例) IPアドレス:192.168.1.24、ポート番号:4445の場合は、 「#192#168#1#24 * 4445#」とダイヤルします。

通話中に DTMF 信号で接点出力制御

下図の接続例にしたがって説明します。



 予めPT402 へ設定を行ってください。
 ・システム設定ファイル(syscnfg.ini) DTMF_TOUT 0 # #
 ・アクション設定ファイル(action.ini) ON "LDVEVN_PT1 DTMF PT402 123" OFF "LDVEVN_PT1 IDLE"

【設定の説明】

今回の設定では、通話中にPB402 側の電話機が「#123#」とダイヤル入力をし、 PT402 が「123」と受信すると接点出力 1(C.OUT1)をON(ショート)します。 また、PT402 が待機状態になるとC.OUT1 をOFFにします。

- LANdeVOICE間で通話を行います。
 通話中にPB402 側の電話機にて「#123#」とボタンを押します。
- 3 PT402の接点出力1(C.OUT1)がショートし、電気錠が解錠されます。
- 4 通話終了後、接点出力 1(C.OUT1)がOFFになり電気錠が施錠されます。

※「#」を別の用途で使用している場合は他の番号を設定してください(P.35 参照)。

※本機能は、LANdeVOICE4シリーズ間の通話中にのみ使用することができます。

第6章 製品仕様

PT402の製品仕様です。

製品名 LANdeVOICE PT402	
	LdV4-PT402
LANポート	1 ポート(RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX) ・MDI(Auto MDI/MDI-X機能なし) ・IPv4(DHCPクライアント機能サポート) ・IPv6 非対応
公衆回線ポート	2 ポート FXO ・RJ-11 ・選択信号:PB信号 DP信号(10pps, 20pps) 設定切替(出荷時設定はPB信号) ・直流給電最大定格:85mA ・呼出信号認識範囲:16Hz~20Hz ・極性反転機能対応 ・端末認証番号:AD23-0125001号
接点出力	2 ポート ・出力形式:無電圧a接点 ・極性なし、交流負荷も接続可能 本体内部回路からは絶縁されている ・最大定格:DC45V 800mA (AC30V 550mA rms、周波数は 100Hz未満の正弦波)
状態表示ランプ	前面:3(STATUS、ch.1、ch.2)
呼制御プロトコル	LANdeVOICE方式(独自プロトコル:IPv4+UDP)
音声通信機能	・圧縮方式: G.711(µ-LAWのみ対応)、G.729A、G.723.1 ・エコーキャンセラ(G.168 準拠[64mSec]) ・無音声圧縮処理サポート ・DTMF中継機能サポート
FAX通信機能	FAXモード専用通信(T.38)
設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの 操作(設定画面)、Webブラウザからのファイル転送

筐体	プラスチック筐体	
動作環境温度の目安 (無風状態の周囲 気温)	 単独平置の場合:0℃~50℃ 平置段積の場合:0℃~40℃ 注)いずれも本体のみについての動作環境温度 ※平置段積の場合には正規オプション品(固定金具キット)を使用し、4段重ねた場合の目安 	
電源	ACアダプタ給電	
消費電力	最大 9.0W 代表值:2.1W(2回線同時通話時)	
環境対応	 ・欧州RoHS指令準拠 ※弊社独自の化学分析は行っていませんが、本指令に 準拠した部材のみを製品に使用しています。 ・VCCIクラスA適合(対象SN: 2017536以降) 	
外形寸法	199(W)×126(D)×31.5(H) mm(突起物含まず)	
質量	本体約 0.38kg	
付属品	 ACアダプタ(1.5m)×1 スイッチング電源方式 入力:AC100~240V(50/60Hz) ※VCCI適合はAC100Vのみ 出力:DC9V、1A 対応環境温度:0°C~50°C LANケーブル(ストレート、3m)×1 保証書 シリアルシール 	
デフォルトIPアドレス	ドレス 192.168.1.24	
保証期間	購入後1年間	
接続可能回線/機器	 NTT公衆回線 ・交換機(PBX)の単独電話回線トランク ※PBX経由でFAX通信をする場合はG3FAXに対応、 ただしスーパーG3(V.34)非対応 ・ターミナルアダプタ ・接点入力のある機器 	
オプション品	・LANdeVOICE4 固定金具キット	

付録

- 付録 1 コーデック(音声圧縮方式)とは
- 付録2 コーデック別使用帯域
- 付録3 ファイル送信による設定について
- 付録 4 DHCP設定の場合について
- 付録5 修理について
- 付録 6 パラメータAD_MODEに関する説明
- 付録7 パラメータCALLCONNに関する説明
- 付録8 パソコンのネットワーク設定について

付録1 コーデック(音声圧縮方式)とは

電話機から入力される音声をそのまま伝送するためには、一般に 64Kbpsの帯域を 必要とします。LANdeVOICEでは、音声を効率よくネットワーク上で伝送するために デジタル化する際に圧縮処理を行っています。このときに使用される圧縮処理方式 のことです。

※発信側と着信側のコーデックの設定は、異なる設定にする必要がない場合、基本的 に同じ値にしてください。

■変更時の注意事項

圧縮効率を上げることで、音質が低下する場合がありますので、利用するネットワークの環境や音質などを十分に検討されたうえでの変更をお奨めします。

付録2 コーデック別使用帯域

通話中に使用する帯域について(CODER · BLOCK) PT402 が 1 対 1 で通話する際の使用回線の帯域は、CODER、BLOCK の 2 つの パラメータで理論上決定されます。

■LANdeVOICE4 シリーズ同士で通信する場合

コーデック	BLOCK 帯域(kbps)	
G.711	30	79.5
G.729A	30	23.5
G.723.1	30	21.9

■LANdeVOICE2、3シリーズと通信する場合

コーデック	BLOCK	帯域(kbps)
C 711	30	77.9
G./11	60	71.7
	30	21.1
G.729A	60	14.9
	90	12.9
	30	18.9
G.723.1	60	12.8
	90	10.8

■参考情報

帯域はご利用になるネットワーク環境によって変動します。

IPパケットのヘッダ情報が追加され、例えばG.711 使用時は約 100kbpsの使用帯域となります。

付録3 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方 法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイ ル送信/バックアップファイル復元」(P.24 参照)にてWeb上へ送信(ア ップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

1 以下の形式でファイルを作成します。

【ファイル名と拡張子】 基本設定ファイル:「netcnfg.ini」 システム設定ファイル:「syscnfg.ini」 電話番号設定ファイル:「phone.ini」 アクション設定ファイル:「action.ini」

【ファイル形式】 テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください) ※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については 「第4章 設定ファイルー覧」を参照してください。

2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信/バックアップファイルの復元」にて、作成した 各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。 ※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

■記述方法と編集ルール

基本設定ファイル(netcnfg.ini)の記述方法と編集ルールは以下の通りです。 ※その他の設定ファイルについては設定画面と同様です。

<記述方法>



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず1行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
 「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
 また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

■基本設定ファイル(netcnfg.ini)に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP (IPアドレス/ ネットマスク)	 PT402のIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP:数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 DHCPモードで使用する場合には、 "255.255.255.255"と入力します。 (P.58参照) ネットマスク:「/」(スラッシュ)の後に ネットマスク(ビット数)を 記述してください。 (記述例 IP 192.168.1.24/24) 	IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	192.168.1.24/24
ROUTER (デフォルト ゲートウェイ)	接続されるネットワークのデフォルトゲートウ ェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力 してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、 設定不要です。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ 残し値を削除してください。 (記述例 ROUTER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
TERM_NAME (端末名)	 端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 TERM_NAME abc-123) 無記述時はシリアルナンバーが表示されます。 例) SN2012345 	最大 20 文字 半角英数字 " - "(ハイフン) " . "ビリオド)	シリアルナンバー (SN)が表示されます
HTTPD_PORT (HTTPポート 番号)	設定画面に接続するためのHTTPサーバポー ト番号を設定します。 セキュリティー上、設定画面へのアクセスを 拒否したい場合は「0」を設定するか、パラメ ータ名のみ残し、値を削除してください。 (記述例 HTTPD_PORT 8084)	0~65535	8084

付録4 DHCP 設定の場合について

PT402 ではIPアドレスをDHCP設定にすることが可能です。その場合の 条件や手順について説明します。

- 1 DHCP運用をするためには端末管理・呼制御サーバLCS403 が必要です。 サーバをご購入のうえ、PT402 のシステム設定ファイル(syscnfg.ini)のパラメ ータ「SERVER」(P.37 参照)を設定してください。
- **2** DHCP設定をするためには、PT402 の基本設定ファイル(netcnfg.ini)にてIPア ドレスを「255.255.255」と設定してください(P.28 参照)。
- **3** PT402の設定変更後、STATUS LEDが緑点灯になっていれば設定完了です。 サーバの端末管理システムにてPT402の現在のIPアドレスが確認できます。

ÎIII 注意 STATUS LED を必ず確認してください

PT402 の設定変更後、STATUS LEDが緑点灯になっていない場合、設 定がうまく行われていません。一度初期化(P.26 参照)を行い、再度確認 のうえ設定してください。

付録5 修理について

修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。 今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店 へご連絡ください。

修理については弊社Webサイトをご参照ください。 https://www.a-2.co.jp/top/repair.html

付録6 パラメータ AD_MODE に関する説明

本パラメータの値が 0 に設定されている場合、PT402 が着信を受けて IP 回線に自動発信した際に、発 信先が見つからない場合、PT402 はその発信処理を中断してしまいますが、発信元電話機は呼び出し 中のまま(受話器からはリングバックトーンが聞こえる)になります。(下図参照。)



上記に対して、本パラメータの値が1に設定されている場合は、PT402に着信があるとアナログ回線を オフフックし発信先が見つからない場合、アナログ回線をオンフックします。これによって発信元電話機 は終話状態(ビジートーンが聞こえる)となるため、相手先がみつからないことを知ることができます。 (下図参照。)

ただし、公衆回線においてこのモードを使用すると、PT402 が自動で公衆回線をオフフックしてしまうため、発信先につながらない場合でも通話料金が発生してしまうことになります。



付録7 パラメータ CALLCONN に関する説明

本パラメータは IP 回線に OD 端末(LANdeVOICE 製品の OD02 もしくは OD402)が接続されている場合に有効です。また、パラメータ AD_MODE(前記)=1 の場合、本パラメータは無効です。

本パラメータの値が OFF に設定されている場合は、OD 端末の先に接続されている発信先電話機がオ フフックするまで PT402 のアナログ回線はオフフックせず、発信元電話機には直接接続されている交換 機からの呼び出し音が聞こえます。(下図参照。)



一方、本パラメータの値が ON に設定されている場合は、OD 端末と IP 回線による接続が行われた時点 で、発信元電話機との通話を開始するため、発信元電話機には OD 端末が接続されている OD 回線の 音が聞こえるようになります。(下図参照。)



例えば、発信先電話機がビジーだった場合、本パラメータが OFF の場合は OD 回線の音声は聞こえな いためにそれに気付くことができませんが、ON の場合は OD 回線のビジートーンが聞こえることになり ます。

ただし、AD_MODE と同様に、公衆回線に接続すると発信先電話機と通話ができない場合にも通話料金 が発生することになります。

付録8 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。 設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認したWindows 10 について記載します。

1. 「スタート(窓マーク)」→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「Windows の設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてく ださい。

Windo	ws の設定	– O X
 検索	Q	
/ター、マウス	電話 Android、iPhone のリンク	ネットワークとインターネット Wi-Fi、機内モード、VPN

3. 「ネットワークとインターネット」の「状態」が開くので、「アダプターのオプションを 変更する」をクリックしてください。

← 設定	
☆ ホ−ム	状態
設定の検索・ク	ネットワークの状態
ネットワークとインターネット	— • • • • • • • • • •
● 状態	イーサネット パブリック ネットワーク
í Wi-Fi	インターネット アクセスなし
記 イーサネット	お使いのデバイスは接続されていますが、ネットワーク上のものに スできない可能性があります。制限付きのデータ通信プランをお
ละ จำจามการว่า	場合は、このネットワークを従量制課金接続に設定するか、また 他のプロパティを変更できます。
% VPN	▲ トラブルシューティング
∲ 機内モ−ド	接続プロパティの変更
⁽ り ⁾ モバイル ホットスポット	利用できるネットワークの表示
(ゆ データ使用状況	ネットワーク設定の変更
⊕ プロキシ	アダプターのオプションを変更する ネットワーク アダプターを表示して接続設定を変更します。

4. 「イーサネット」をダブルクリックしてください。



5. 「イーサネットの状態」ウィンドウが表示されるので、「プロパティ(P)」をクリック してください。

1++ ++		
g枕 IPv4 接続·	ネットワーク アクセン	tt.
IPv6 接続	ネットワーク アクセン	
メディアの状態:	1717 7772	有効
期間:	00:0	1:26
速度:	100.0 M	Ibps
8+744(C)		
s+₩m(c) 動作状況		
s+mu(c) 動作状況	خة ــــــــــــــــــــــــــــــــــ	受信
s+mu(c) 動作状況 パケット:	送信 — · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受信 0

 6.「イーサネットのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「インターネットプロト コル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、 「プロパティ(R)」をクリックします。



▲ 注意 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

 7.「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウが 表示されるので、「次の IP アドレスを使う(S)」と「次の DNS サーバのアドレス を使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。 デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。 入力したら「OK」をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)0	ง7่อパテ₁ ×
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場 きます。サポートされていない場合は、ネットワ- ください。	合は、IP 設定を自動的に取得することがで -ク管理者に適切な IP 設定を問い合わせて
○ IP アドレスを自動的に取得する(O)	
● 次の IP アドレスを使う(S):	
IP アドレス(I):	192 . 168 . 1 . 100
サブネット マスク(U):	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ(D):	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(B)
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):	
優先 DNS サーバー(P):	
代替 DNS サーバー(A):	· · ·
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(V)
	OK キャンセル

8.「閉じる」を押して「イーサネットのプロパティ」を閉じます。

ネットワーク 共有		
接続の方法:		
Intel(R) Ethernet	Connection (4) I219-V	
		構成(C)
この接続は次の項目を使用	刊します(O) :	
Microsoft ネット Gos /(ケットスケ Qos /(ケットスケ Gos /(ケットスケ Gos /(ケットスケ Gos /(ケットスケ Gos / ロークーネット プロ Gos / ロークーネット プロ Gos / ロークーネット プロ Gos / ロークーネット プロ Gos / ロークー	ワーク用ファイルとプリンター共 ジューラ logy Access Filter Driver lトコル パージョン 4 (TCP/IPv4 rork Adapter Multiplexor F プロトコル ドライパー	有 () Protocol
	削除(U)	プロパティ(R)
インストール(N)	1221-21-27	5 - 1 1 2 1 1 1 V

9. 【確認】「イーサネットの状態」ウィンドウの「詳細(E)」をクリックします。 「イーサネットの状態」ウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→ 「設定」…とアクセスしていってください。

连结		
IPv4 接続:	ネットワーク	アクセスなし
IPv6 接続:	ネットワーク	アクセスなし
メディアの状態:		有効
期間:		00:02:39
速度:	1	00.0 Mbps
a+78四(C)		
動作状況		
s+m(C)… 動作状況	še — 🐙 —	受信
±+m(L) 動作状況 パケット:	送信 — · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	受信 0

10.「ネットワーク接続の状態」ウィンドウが開くので、IPv4 アドレスが 「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていること を確認します。

「閉じる」ボタンをクリックします。

プロパティ	值
接続固有 DNS サフィックス	
説明	Intel(R) Ethernet Connection (4)1219–V
物理アドレス	EC-21-E5-BF-71-30
DHCP 有効	លលន
IPv4 アドレス	1921681100
IPv4 サブネット マスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルト ゲートウェイ	
IPv4 DNS サーパー	
IPv4 WINS サーパー	
NetBIOS over TCP/IP 有…	៨ល
リンクローカル IPv6 アドレス	fe80::9146:dd35:2367:967a%18
IPv6 デフォルト ゲートウェイ	
IPv6 DNS サーパー	fec0:0:0:ffff:1 %1
	fec0:0:0:ffff:2 % 1
	fec0:0:0:ffff:3 % 1

この製品は、厳密な検査に合格したものです。

お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- ●使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- ●故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- ●保証期間内で修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日および販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- ●保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証規定

〇保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。

- 〇修理はセンドバック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- 〇本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- Oお客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツーおよび販売店は、一切 その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
 - 1. 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
 - 2. 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

〇本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とし ます。

〇次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

- 1. 取扱い上の誤りによる故障および損傷
- 2. お客様にて分解・改造・修理をされている場合
- 3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障および損傷
- 4. 間違って接続した場合(電源電圧が違うアダプタを挿した場合等)の故障および損傷
- 5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因 に起因する故障および損傷
- 6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障および損傷
- 7. 日本国外で発生した損害
- 8. お引渡し日および販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
- 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者 が改めた場合

〇本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合にのみ有効な ものとします。(This warranty is valid only in Japan.)

〇本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

製 品 名		LANdeVOICE PT402			
保証	E期間	お引渡し日	年	月	日より1年間
販売	販売店名				
戊 店記入欄	販売店 住所	TEL ()		



この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起 こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されること があります。 VCCI-A

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

🎶 株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : https://www.a-2.co.jp/landevoice/

E-mail : landevoice@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00 <土日祝日、その他弊社休業日を除く>

くお問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

●保証について

・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が 正しく行われているかを確認してください。

・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ·製品名(Model)
- ・シリアル番号(SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、メールアドレス
- ·購入店
- ·購入日付
- ・接続構成

・お問い合わせ内容(症状や状況、ネットワーク環境等を詳細に)